

【平成 21 年度 大会規定及び遵守事項等について】

〔大会規定〕

1. チームの登録選手は、20 名以内とする。ただし、内野 1 名、外野 1 名のボールボーイを含めベンチ入りは 22 名以内の事。
2. 出場選手は、大会出場申込期限までに、連盟の登録用紙にて登録済の者に限る。
3. 組合せの若番号が 1 塁側のベンチ、後番号が 3 塁側のベンチに入る。また、監督及びコーチ並びにマネージャーは、試合開始時は選手と共にベンチ前に整列すること。
4. 試合開始時間 1 時間前に試合場に到着し、到着と同時にスターティングメンバー表を 2 部本部に提出し、所定の審査を受ける。
5. メンバー表交換時に、キャプテンにより先攻・後攻をジャンケンで決める。
6. チームが試合予定時間にグラウンドに集合できない時は、棄権とみなす場合がある。その場合は、7 対 0 のコールド負けとする。

交通事故等の緊急事態が発生し、事前に連絡があった場合は本部で協議し、試合時間を変更して行う場合もある。
7. 小学部は 4 回以降 7 点差、中学部は 5 回以降 7 点差で、コールドゲームとする。但し決勝戦はコールドゲームなしとする。
8. シートノックは後攻チームから行ない、開始の放送より 2 チーム合計 14 分間とする。相手チームは必ず全員ベンチ内で待機すること。ただし残り 2 分のコール時に、ベンチ前に並び準備をする。
9. 試合前のシートノックについては、監督・コーチに限る。シートノックを担当するのは選手と同じユニフォーム・スパイクを着用すること。
10. 相手チームのノック中は全員ベンチ内で観戦し、キャッチボール、ノック、素振り等をしてはならない。ただしバッテリーの投球練習はしてもよい。その場合は保護のための選手をホーム側に 1 名つける事。
11. 試合中のラフプレーは絶対させないように指導する。
12. 監督またはコーチが、投手に対する指示を与える目的をもってタイムを要求する場合、直接・間接を問わず 1 イニング 1 回までとし、2 回目は自動的に投手交代となる。この場合、投手が 1 度他の守備位置についたらこの回に限り、再び投手として登板することはできない。しかし次の回より再び投手として登板することができる。
13. 投手は原則として、ダブルヘッター（小学部 6 回、中学部 7 回）の連投はできない。しかし、小学部は投球数が 6 回をこえない場合、次の試合との合計が 6 回になるまで認める（中学部は 7 回）。なお、小学部は変化球を禁止する。
14. 監督またはコーチが選手にアドバイスする時は、フェールラインの所で行う事。（もちろん、ベンチより駆け足で（中学部に限り、選手を伝令として行う）遅延行為とならないように速やかに行う。

15. ヘルメットは、1 チーム 10 個以上同色のものを揃えること。
16. 投球練習を受ける捕手は、ヘルメット、面、プロテクター、レガース、カップ一式を着用すること。尚、カップについては野手も必ず着用すること。ミットは、小・中共捕手専用を使用すること。スパイクはミドルカット迄認める（ハイカットは不可）尚、同色同型で統一すること。
17. 捕手用具は、2 セット準備すること（審査の対象となる）スロートガードも必ず付ける事。
18. ブルペンでの投球練習は、捕手は用具一式を着け、投手もヘルメット（ヘッドギア）を着けて行うこと（野手のキャッチボールについてもヘルメット着用）。
19. ブルペンの投球練習は、投手はヘルメットを着けてベンチ側より外野方向へ向かって投球すること。
20. ボールボーイもヘルメットを着用すること。
21. 監督が、何らかの事情で指揮をとれない場合は、その旨を本部（球場責任者）に届出し、指導者名簿に登録されているコーチが代理を務めることができる。又、そのコーチも不在の場合は指導者名簿に登録されている者が代理として指揮をとってもかまわない。この場合、コーチ又は代理者はユニホームの袖に監督代行のリボン（赤）をつける。
22. 試合は、公認野球規則によって行い、当連盟のルールをもって補う。ボークは警告なしで宣する。

小学部の塁間及びピッチャープレートホームプレート間は次のとおりとする。

・ 塁 間……23m ・ ピッチャープレートとホームプレート間……16m
23. 小・中学部とも、女子の出場を認める。尚、小学部は2名迄、3年生の出場を認める。
24. 野手・投手共リストバンド不可。
25. グランド内での選手・指導者は、サングラス不可。
26. マスコットバットの使用はかまわない。（バットリング、鉄棒、トレーニングバットの持ち込みを禁止する。）金属バットや、用具に特別に細工等をしてはいけない。
27. 試合中投手が投球モーションに入ったら次打者の素振り禁止（次打者は、サークル内において、ひざをつけて待つ）。打者がサインを受ける場合は、バッターボックス内にて受ける事。
28. バッテリーの球種配合のサインを打者に対し、走者・コーチャースボックス・ベンチ等から伝達することを禁止する。
29. コーチャースボックスに入っている選手が打者走者の触塁に合わせての「セーフ」のジェスチャーとコールは禁止する。
30. チームが守備につくとき、控え選手はベンチ前2m以上出ないようにする。
31. DHの採用（できるだけ多くの選手を試合に出場させることを目的としたもので下記の項目にて行なう。

試合前に指名しなかった時は、その試合で指名打者を使う事は出来ない。

指名打者に代えて、代打を使っても良い それ以後、指名打者となる。

○退いた指名打者は再び出場出来ない。

指名打者が守備についても良い。打撃は自分の打順の所で打つ。

○ 但しDH制は、その時点で終了とする。

指名打者の打撃順は番が固定されており、打順を変える事は出来ない。

指名打者に変わり出場させようとするプレーヤーは指名打者の番が来るまで届け出る必要はない。

32. 試合開始時は球審のベンチ前のコールと同時に両ベンチ、スタンド、本部席等関係者全員一同起立してあいさつをかわす。1回のみとする。

33. エルボーガード・レッグガードの使用は認める。(色は黒か紺又は白とする)

34. ベンチ内のメガホンは5個以内とする。ベンチからの声援は少年野球選手らしく、自チームの士気を高める様な声援をする。

35. ランナーコーチ・先頭打者となる選手は、攻守交代の時はベンチのミーティングに参加しないで直ちにコーチャーボックス・バッターボックスにはいること。

36. 試合中本塁近くのバット・マスクは審判員が取り除くものでなく次打者が守備妨害にならないように早く取り除くこと。

37. 投手のウォームアップ終了時に、捕手がセカンドへ送球する球に投手は注意する。

38. 投手のウォームアップ時に各回の先頭打者と次打者が打者席付近に近づき、タイミングを測る行為は禁止する。(ネクストバッターサークル付近でする事)

39. 試合中、投手が投球動作に入ってから、両チームの選手(監督、コーチ含む)の声出しを禁止する。

40. 投手の二段モーションについて、ランナーがいる場合は即ボーク。ランナーがいない場合は一度注意する。

41. 指導者の試合中の抗議は禁止(試合中はベンチより出てはならない)選手交替は、複雑な場合は時間短縮の為行っても可(主審より要請があった場合は可)

ただし、一度に3名以上交代する場合はメモ書きにて、本部席及び相手チームへ提出の事。

42. ベンチマネージャーの服装は、10月～5月まではチームジャンパーに紺ズボン、帽子は選手と同一のものとし、6月～9月までは上は白シャツに下は紺ズボン着用とする。

[開会式について]

1. 入場行進は春季リーグ戦のみ練習用ユニフォームおよび練習用帽子の着用を認める。但し、ユニフォームの背、胸の名前の手書きは認めない。スパイク、ストッキングは試合用の統一したものとする。

2. 1. 以外の大会の入場行進は全員統一したユニフォームの着用とする。

3. 始球式道具ならびに整列用ボールは連盟で準備する。

4. 開会式に出席されていない監督はその日の試合はベンチ入出来ない。

5. リーグ戦以外のトーナメント大会での入場行進は、20名以内とする。

〔閉会式について〕

1. 閉会式は優勝・準優勝の2チーム（小学部を含む場合は4チーム）で行う。
2. 最終日に、同一球場で準決勝、決勝とあった場合は全チーム参加とする。

〔審査について〕

1. 選手の整列、監督コーチの立ち会いにより審査を開始すること。
※監督・コーチは試合ユニフォームにて立ち会うこと。
2. 審査は3名にて行い、1名は、道具を点検する。（時間短縮）
3. 選手カード及び登録名簿で確認する。
※背番号を呼ばれた選手は、1歩前に出て審査を受けること。
4. 選手カード及び登録名簿は、審査終了後本部にて預かる。（メンバー表との確認等）
5. 用具の検査を行う。

- ・バット 規格、ヒビ割れ、グリップはがれ等
- ・グラブ ひも切れ、ゆるみ、破れ等
- ・ヘルメット（両耳付） 個数（10個以上）、ヒビ割れ
耳あてスポンジの有無、ヘルメットマーク
- ・キャッチャー道具一式 個数（2個以上）、ひも切れ、ヒビ割れ等
- ・投手用ヘッドギア 中学部2個、小学部1個
- ・スパイク ケンの有無、ひも切れ等
- ・手袋 白か黒のどちらか1色のみ
- ・エルボーガード 黒か紺又は白とする
- ・レグガード //
- ・救急箱 コールドスプレー、爪切り、バンドエイド等（救急用品）
- ・ゴミ袋

6. 爪の検査を行う。伸びている場合は、切った後に再度、本部席まで見せに来るよう指示する。指先より出ていないときはよし。
7. 頭髪の剃り込み及び着色、眉毛剃りの検査を行う。違反者は出場停止とする。
8. セフティカップの確認を行う。
9. 以上終了後、試合に際しての注意を行う。
 - ・攻守交替は、速やかに行うこと。
 - ・個人攻撃的なヤジ、汚いヤジは飛ばさないよう、厳重に注意する。
10. 検査の結果、使用不可と判断した用具は、試合終了まで本部席で預かること。
11. 審査はできるだけ大きな声ではっきりと行うこと。

12. 選手の声が小さい場合は、やり直しさせること。

13. 試合終了後、監督は必ず本部席へ直行しスコアカードへ、確認サインを行うこと。〔本部席について〕

球場における代表の職務

1. 前日雨が降ったり、当日雨が降ってた場合は、本部席担当チームが天気予報等を参考にして慎重に対処する。たとえば晴れ上がる方向にある天気予報の場合、30分～1時間位待ち、グラウンド整備をして試合が行えると判断した場合は行う。また、試合が行われないと判断した場合は、中止指令を出し、リーグ戦は各ブロック長、トーナメントは代表会事務局及び運営部に報告する。

この場合、後の試合のチームへも連絡すること。ただし、球場へ向かって出発した後でどうしても連絡が取れないときは、誰かをグラウンドに残し、その旨を伝える。

2. グラウンドコンディションが悪い場合、管理人がいる場合は、管理人の指示に従うこと。

3. 球場責任者になったチームの代表が代理で、相手チームの代表が来ている場合は、相手チームの代表がリーダーシップを取る。

4. 代表が代理等の場合は、本部席にいる他の代表が手伝うこと。

5. グラウンド以外の立入禁止区域（本部席他指定区域）に、選手、子供、父母等が立ち入らないように注意する。又、父母の服装、見だしなみ等はきちんとさせる。（40頁試合の応援についてを参照のこと）

6. グラウンド管理チーム（3塁側）は、試合前石灰、ラインカー、固定ベース、ホームベースを準備しておくこと。試合終了後もグラウンド整備を行い次チームへ引き継ぐ事とする。

（1塁側）チームは、本部席の設営を行う。

7. 両チームの登録名簿及び、当該試合の登録選手カード（20名以内）が提出されているか確認する。（審査終了と同時に預り当該チームの代表はメンバー表とのまちがいがいがないかどうかの確認をする。）

8. 審査を何時から行うか指示し、準備させる。

この場合、責任者最低1名（監督、コーチ等）を立ち合わせること。

9. 両チームキャプテンを呼んでメンバー表交換と、先攻後攻を決め、試合球2ヶを提出させる。

10. リーグ戦においては、両チームより、審判謝礼（2000円）＋交通費（第一試合の一塁側チームのみが支払う事）を徴収する。

11. シートノック（14分間）を何時から行うか指示する。ボール廻しが始まったら、ストップウォッチで計測し5分経過した時点で、「残り2分」のコールをする。

12. シートノックは、後攻チームより行い、両チーム合計14分間を越えない様に管理をする。

13. シートノックは、試合開始30分前に始めると定刻通り試合開始ができる。

14. 1塁側チームより記録員を出させ、スコアカード等の記入の準備をさせる。

15. 主審、塁審が揃っているかどうか確認する。その際審判カード（受講済証）を提出させる。
16. 主審が試合時間までにこない場合は、塁審の中から主審を出し、試合を開始させる。途中で主審が来た場合は、裏の攻撃が終了後交替する。
17. シートロックが終わったら、速やかに3塁側グラウンド管理チームにグラウンド整備をするよう指示し、ライン引きは、慣れた審判が行う。
18. 試合開始の挨拶、本部席、ベンチ内、応援席、その他全員が起立しているか確認し、座ったままの人がいたら、マイク等で注意する。
試合終了の宣告を受けるときも、同様である。
19. プレーボールの宣告があったら、ストップウォッチで計測を始め、試合開始時間を両チームに知らせる。
20. 試合終了後、速やかに記録集計ができるように指示し、協力する。
21. 試合終了後、引き上げてきた審判員に労をねぎらう。
22. 審判員におしぼりと飲み物を差し入れする。（3回か4回終了後）1塁側に集まってもらう。（基本的に選手以外は、グラウンド内に入らない）当番父母会に伝える。
23. 新聞社の報告用紙及び球場責任者報告書に記入する。又、球場責任者報告書の所感欄は、どんなことでも良いから記入する。
24. 新聞社の報告用紙は、試合終了後各チームにて Fax する事（44頁を参照のこと）。スコアカード、新聞社の報告用紙、審判謝礼等を次試合の代表に引き継ぐ。尚、球場責任者報告書は当該チームの本部担当チームが試合終了後各自持ち帰る事。引き継いだスコアカードは数試合分まとめて良いから、山崎記録部長へ郵送する事。球場責任者報告書も同じ様に数試合分まとめて代表会事務局長平岡代表へ郵送する。
25. 最後の試合の代表は、諸用紙類、連盟旗等を責任を持って誰かにことづけるか、保管する。また、当日の全試合分の審判謝礼金を主審に渡すこと。
26. トイレ等を汚した場合は、父母等に指示し清掃する。
27. 各試合終了後グラウンド及び周辺を見て回り、タバコの吸殻、ゴミ等がないことを確認して帰る事。
28. 管理人がいる球場では、グラウンド整備と周辺の清掃が済んだことを報告して、使用のお礼を言って帰る。
29. 小学部を持っている球団代表は小学部の試合に優先的に参加する。

〔監督・コーチについて〕

1. 監督

成人男子で定職を持ち、青少年の育成に情熱を持ち、時間的に余裕のある人で、保護者及び選手より尊敬される人でなければならない。チーム所属選手を把握し、練習・試合を通じて指揮する最高責任者であるが、チーム運営などに対しては、代表に協力しなければならない。

2. コーチ

協調性があり、監督に協力し選手の指導にあたる。その他の資格は監督に準ずる。

〔コーチの背番号について〕

大会において、コーチの背番号は50番代（50～59）であればよい。

1. ベンチ入りは従来通り2名とする
2. 九州選手権・福岡大会・鹿児島大会・出水大会においてはコーチの背番号は50・55番とする。

〔選手登録の背番号について〕

1. 各大会の登録における背番号は00、50～60をのぞく番号を付けること。
2. 原則として若い番号より使用すること。

〔指導者について〕

指導者の試合中の抗議は禁止（試合中はベンチより出てはならない）選手交替は、複雑な場合は時間短縮の為行っても可（主審より要請があった場合は可）

ただし、一度に3名以上交代する場合はメモ書きにて、本部席及び相手チームへ提出の事。

〔リーグ戦について〕（春・秋）

1. チームの登録選手は9名以上とする。
2. 小学部の春季リーグ戦は、2試合総当たりとする。

イ 試合時間は、1時間30分を越えて新しいイニングに入らない。

（ただし、1分でも時間があれば新しいイニングに入るものとする。また試合時間は、主審の“プレーボール”のコールから審判の“第三アウト”のコールまでとし、計測は、本部席の当該試合の記録担当チーム代表がストップウォッチで行うものとする。

ロ 6イニングもしくは時間終了後、同点の場合は、即座にエキストライニングに入り決着がつくまで行うものとする。

ハ エキストラは、1死満塁で次打者より行う（前イニングより引き続く）ものとし、走者は、前イニングの3名が入るものとする。

【例】1時間29分で5イニングが終了した場合は、残り時間が1分あるので6イニングに入る。6イニング終了（最終アウトは9番打者）後同点の場合は、即座にエキストライニングに入る。

打者は、1番バッターが入り、走者は3塁が7番、2塁が8番、1塁が9番打者が入る。

1回のエキストラで決着がつかない場合は、引き続き上記要領でエキストラを行い、決着がつくまで行うものとする。

3. 中学部のリーグ戦は、東・南・西3パートで行う。

イ 試合時間は、1時間40分を越えて新しいイニングに入らない。

ただし、1分でも時間があれば新しいイニングに入るものとする。また試合時間は、主審の“プレーボール”のコールから審判の“第三アウト”のコールまでとし、計測は、本部席の当該試合の記録担当チーム代表がストップウォッチで行うものとする。

ロ 7イニングもしくは時間終了後、同点の場合は、即座にエキストライニングに入り決着がつくまで行うものとする。

ハ エキストラは、1死満塁で次打者より行う（前イニングより引き続く）ものとし、走者は、前イニングの3名が入るものとする。

【例】1時間39分で6イニングが終了した場合は、残り時間が1分あるので7イニングに入る。7イニング終了（最終アウトは9番打者）後同点の場合は、即座にエキストライニングに入る。

打者は、1番バッターが入り、走者は3塁が7番、2塁が8番、1塁が9番打者が入る。

1回のエキストラで決着がつかない場合は、引き続き上記要領でエキストラを行い、決着がつくまで行うものとする。

4. 出場選手が9名に満たない場合は試合が出来ないのでコールドゲーム扱いとなります。

5. リーグ戦は日曜、祭日は必ず試合が入る。又都合上土曜日でも行う場合がある。

6. 各チーム共、学校行事等を的確に把握し、各ブロック長に速やかに連絡すること。

試合日の10日以内の変更は認めない。万一こういう事態が生じた場合は、当該チームは理由の如何にかかわらず不戦敗とする。（リーグ戦全てにおいて有効とする）

7. 小・中学部共、ダブルヘッダーが組まれる。

〔リーグ順位決定トーナメント戦〕

1. 中学部のリーグ戦は、東・南・西3パートで行なう、順位決定戦は各パート上位4チーム（計12チーム）にて組合せにより決勝トーナメントを行う。リーグ戦の2位については各ブロック共3回に1回はシードとなる。

パート順位決定は同率のチームが複数の場合は、同率チーム同士の勝者を優先とする。又、同率が3つ以上の場合には、失点差とし、失点が少ない方が上位とする。（エキストライニングを除く）それでも同率の場合は抽選とする。

2. 試合開始、要項についてはリーグ戦に準じる。

3. 3位決定戦は行わない（2チームとも3位）

4. 準決勝、決勝が終了次第、閉会式を行う。3位のチームも閉会式及び表彰式に参加、又、役員及びトーナメントに出場した12チームの代表は、閉会式及び表彰式に参加し、優勝旗、賞状、メダル等の準備をする。

〔トーナメント大会について〕

1. 1回戦は、日程の都合上ダブルヘッダーを組む事がある。但し、九州選手権秋季北部地区大会については初日のダブルヘッダーはなしとする。

2. 九州選手権秋季北部地区大会と福岡大会に限り抽選は東・南・西・3パートの各同パ

ート同士の対戦は1回戦に限り極力さける事とする。

3. 時間制限を、下記のとおり設ける。(決勝戦も含む)

《小学部》…… 試合時間は、1時間40分を越えて新しいイニングに入らない。

ただし、1分でも時間があれば新しいイニングに入るものとする。また試合時間は、主審の“プレーボール”のコールから審判の“第三アウト”のコールまでとし、計測は、本部席の当該試合の記録担当チーム代表がストップウォッチで行うものとする。

イ 6イニング終了後、同点の場合は、時間内であっても即座にエキストライニングに入り決着がつくまで行うものとする。

ロ エキストラは、1死満塁で次打者より行う（前イニングより引き続く）ものとし、走者は、前イニングの3名が入るものとする。

【例】1時間39分で5イニングが終了した場合は、残り時間が1分あるので6イニングに入る。6イニング終了（最終アウトは9番打者）後同点の場合は、即座にエキストライニングに入る。

打者は、1番バッターが入り、走者は3塁が7番、2塁が8番、1塁が9番打者が入る。

1回のエキストラで決着がつかない場合は、引き続き上記要領でエキストラを行い、決着がつくまで行うものとする。

《中学部》…… 試合時間は、2時間00分を越えて新しいイニングに入らない。

ただし、1分でも時間があれば新しいイニングに入るものとする。また試合時間は、主審の“プレーボール”のコールから審判の“第三アウト”のコールまでとし、計測は、本部席の当該試合の記録担当チーム代表がストップウォッチで行うものとする。

イ 7イニング終了後、同点の場合は、時間内であっても即座にエキストライニングに入り決着がつくまで行うものとする。

ロ エキストラは、1死満塁で次打者より行う（前イニングより引き続く）ものとし、走者は、前イニングの3名が入るものとする。

【例】1時間59分で6イニングが終了した場合は、残り時間が1分あるので7イニングに入る。7イニング終了（最終アウトは9番打者）後同点の場合は、即座にエキストライニングに入る。

打者は、1番バッターが入り、走者は3塁が7番、2塁が8番、1塁が9番打者が入る。

1回のエキストラで決着がつかない場合は、引き続き上記要領でエキストラを行い、決着がつくまで行うものとする。

4. 登録用紙（リーグ戦使用の登録用紙の写でも可、大会名は明記の事、ただし印鑑は要）は、決められた期日までに必ず提出すること。

*ベンチに入れる選手は、内・外野のボールボーイを含め、22名以内とする。

*登録用紙と背番号が違った選手は、当該大会への出場が出来ないので、充分注意しておくこと。

5. トーナメント大会にての本部席からのアナウンス（選手紹介）に関しては、毎回攻撃

時には必ず小・中学校名も一緒にアナウンスを行うこと。

6. 一、試合成立は5回とする。5回以降同点の場合、雨天、日没等により試合続行が不可能だと判断された場合はサスペンデット扱いとし、後日その続きを行なう。(試合時間、アウトカウント、ボールカウント、メンバー表は引き継ぐものとする。ただし投手の投球回数は引き継がない。)

二、試合が5回未満又は、エキストラの時点でサスペンデットになった場合は再試合とする。

三、一年生大会、小学部の試合については4回終了で試合成立とする。

[投手の投球回数について]

投手は原則としてダブルヘッダー(小学部・中学部共)の連投は出来ない。

しかし、小学部は投球数が6回を超えていない場合は、次の試合で前の試合との合計が6回になるまで認める。(中学部は7回)

<前記の投球回数以上投げた場合の取扱いについて>

1) このような事が起こらないよう、本部席の球場責任者は事前に投球回数を把握し、その旨を両チームの監督に連絡するものとする。

2) ダブルヘッダーが組まれている場合は、当該チームの監督は第1試合で投げた選手の投球回数を本部席の球場責任者に報告し、上記のような事態が起こらないようにしなければならない。また、本部席の球場責任者及び当該チームの代表もそれらを十分に把握し、未然に防止すること。

3) 万一このような事態が生じた場合は、次のとおり措置するものとする。

7イニングを超えて投球しているのを発見した場合は、その事実が発生した時点で、試合を止めその投手を交代させるものとする。

4) 試合終了後(審判がゲームセットをコールした時点)、上記事実が確認された場合は、当該試合は成立するものとする。

なお、こういう事態が生じた場合は、当該チームの代表及び監督はペナルティを受けなければならない。

また、このようなことは絶対に起きないように、各チームの代表及び監督等は十分に注意しておくこと。

[中学部オールスター戦について]

連盟主催

1. フレッシュリーグ IN 福岡ヤフードームオールスターの監督は理事長及び役員若干名で会議を行ない決定する。

2. 選手は各チーム1名、3年生に限定する(チームから推薦、同一チーム3年間在籍に限る)。その他は、選考委員会によって選出し、東・南・西各チーム12名を越えない。選考委員は東・南・西チームの監督3名の他、理事長の任命した理事会、代表会、監督会各1名、計5名とする。

監督会主催

3. オールスター戦の監督は、下記の監督が責任をもって行う。

Aチーム …… 春季リーグ戦の優勝監督

Bチーム …… 秋季リーグ戦の //

4. ナイトゲーム、9イニングが望ましい。

[夏季九州選手権予選について]

1. 九州選手権秋季北部地区大会の上位4チームをシードする。

※シードでは、ベスト8まで対戦しない事。

[中学部1年生大会について]

1. 組合せは、九州選手権秋季北部地区大会時に行う。

2. 1チームの構成は9名以上とする。但し、3名以内に限り、小学部あるいは入部予定の6年生を出場させても構わない。但し、その3名は投手、捕手はできない。その場合は、保険加入の証明及び登録費（1人1,000円）を提出しなければならない。（小学部に登録している選手は不要）

3. 原則として1球団1チームとする（但し、この限りではない）

4. ベンチ入りは何名でも可。

[シートノックの人数について]

1. 大会においては、ノックを受けるものは登録選手の20名以内とする。（ボールボーイのお手伝いは可）。

2. リーグ戦においては何名でも可。

3. グラウンドに入る選手は試合用ユニホーム着用者とする。

[審査について]

1. 審査は、前試合の3回終了時までに行う。この場合、当該チームより本部にその旨申出があった場合、審査を行って良いものとする。（詳細はP36参照の事）

[本部席について]

1. 本部席には、一般の保護者の立ち入りは禁止する。

[グラウンド及びその周辺の整備・清掃について]

1. 当日最後の試合終了後、両チーム選手及び保護者等にて5分間程度、グラウンド及びその周辺のゴミ、タバコの吸い殻等の回収を必ず行うこと。

ゲームセット → 相手チームへ挨拶 → 一時解散（グラウンド及びその周辺のゴミ、タバコの吸い殻等の回収） → 本部席へ挨拶 → 帰路

2. 灰皿のない場所での喫煙は禁止する。

3. 各チームは掃除用具、灰皿、ゴミ袋等を必ず準備しておく事。

4. すべてにおいてマナーアップを心がける。

[試合の応援について]

1. 本部席付近での応援はしない

基本的には一・三塁のベンチの外野側での応援とする（ただし、応援スタンドがある場合は除く）

2. 試合中の選手にグラウンド外より親が指示等を与えることを禁止する
3. 応援席での小さな子供には、保護者の責任において十分に注意し、事故のない様にする
4. 応援のマナー（ルール）は遵守し、はなはだしいヤジ等はしない

〔その他〕

1. 団旗の頭……丸に統一（銀）
2. ストップウォッチは、試合当日必ず持参すること。また、テント、ハンドマイク、ラインカー、固定ベース等を持っているチームは、試合当日常時準備しておく。

〔副代表の服装〕

1. 副代表の服装は冬（10月～5月）は、紺色ブレザーに紺のズボン・白カッターシャツにエンジのネクタイ・白のスポーツシューズ・副代表帽子着用のこと。夏（6月～9月）は半袖白カッターシャツにエンジのネクタイに紺のズボンと白のスポーツシューズとする。マネージャーについては31頁の42.を参照のこと。

〔球場責任者報告書、及び西日本新聞社報告用紙について〕

○ 球場責任者報告書

当該チームの責任者が、その日の全試合をまとめて保管しておいて1つの大会が終れば、代表会事務局（平岡）に速やかに郵送する。

○ 西日本新聞社報告用紙

当該試合の責任者が当日19:00迄に（時間厳守）下記の所（3ヶ所）へFAXする。

〈代表会事務局〉（全試合） 平 岡 和 也 TEL (092) 771-2326

FAX (092) 712-4215

携帯 090-2500-5275

〈運 営 部〉（全試合） 金 子 順 一 TEL (0948) 62-5057

FAX (0948) 62-5057

携帯 090-4474-9730

〈H P 担 当〉（全試合） 明 利 芳 郎 TEL (092) 865-6008

FAX (092) 865-6007

携帯 090-8767-2734

尚、当日19:00迄にFAXしない場合は、結果は新聞掲載されない。〔選手登録名簿及びスコアカードについて〕

○ スコア・カード

当該球場の最後の責任者が保管。全日程終了後、日程、球場別に整理して記録部長（山崎）に郵送する。

○ 選手登録名簿（B4）及び指導者名簿（A4）は各2部提出のこと。規定の書式で必

ず行うこと。(パソコン用CDを各球団に配布しているので、それからプリントアウトする事)

- 選手カード(写真添付)1部、スポーツ保険等の加入の写し(A4)2部。提出期限は、決められた日時までに提出のこと。

郵送先 福岡市博多区東那珂1丁目10-15(〒8160092)

福岡印刷(株) 山崎博実 宛 TEL (092) 451-0027

FAX (092) 431-7072

携帯 (090) 8621-3961

[連盟費、選手登録費等の振込み先]

- 振込金等の明細を白沢統括部長宛に必ずFAXする事。

福岡市早良区原3丁目15-2-233(〒8140022)

白沢真一郎 宛 TEL (092) 851-1093

FAX (092) 851-1093

携帯 (090) 3738-0442

振込先 西日本シティ銀行 平尾支店

(口座名) 口座番号 普通預金口座 1211845

口座名 フレッシュリーグ 九州北部地区連盟 会計 白沢真一郎

[しおり広告費について]

- 各球団40,000円以上。連盟の財源確保のため、できるだけ多くご協力をお願いします。

[連盟運営費及び協会運営費について]

- 連盟運営費 (各球団) 80,000円

- 球場使用料は、別途徴収する。

[春季及び夏季九州選手権大会の運営費について]

- 春季九州選手権大会 各チーム10,000円

- 夏季九州選手権大会 各チーム10,000円

- 九州選手権大会に出場するチームは別途5,000円(しおり代)

[各トーナメント大会等の参加費は、1チーム10,000円とする]

- ジュニアトーナメント大会(小学部)

- 中学部一年生大会

- 九州選手権予選大会(2回)

- 福岡大会(但し、球団の記念大会は除く)

※試合球は各チーム供出。

[各トーナメント大会、リーグ戦等審判謝礼金について]

1. 各チーム1試合につき2,000円とする。(福岡野球審判協会を利用する場合)

その他の場合は、その試合会場の担当責任者に聞く。

2. 各大会において、下記球場を使用する場合は、各チーム使用料として1試合について

1,000 円を別途支払う。

○北九カーギナルス球場・ロッテ球場・下関マリナーズ球場・佐賀ロイヤルズ球場・九州三菱夜須球場・田川農林高校G・宮若オーシャンズ9 球場・福岡ライナーズ球場

〔セフティカップの義務付けについて〕

全ての試合、練習試合において義務付ける。

〔塁審の服装〕

10 月～5 月（冬季）

6 月～9 月（夏季）連盟の承認した服装とする。

服装とは関係ないが各大会の開会式時には全チーム必ず審判を 1 名出席させる事。

〔ユニホーム変更について〕

チームの試合用ユニホームを変更する場合は写真を添えて報告書を総務部長へ提出の事。

〔注意〕 試合時（審査）、しおりを必ず携帯の事

連盟の関係書類（書式統一書類）

1. 選手登録用紙	各球団で管理する
2. 選手登録カード	〃
3. 審判カード	〃
4. 指導者名簿	〃
5. スコアカード	〃
6. メンバー表	〃
7. 代表交替申請書	各ブロック長が管理する
8. 選手移籍申請書	〃
9. 監督交替申請書	〃
10. 遠征等事前報告書	各球団で管理する
11. 西日本新聞社への試合結果報告書	〃
12. 球場責任者報告書	〃
13. スポーツ保険申請書	〃
14. 大会・会議、欠席遅刻届の用紙	〃

※書類がなくなった場合は（2. 3. 5. 6）代表会会計へ申し出る。

但し通常は年 2 回の販売とする。加盟希望チームの審査要領